

1 科目名 (教科)	芸術	6 教科書名		
2 講座名	音楽Ⅱ	Tutti+ 音楽Ⅱ (教育出版)		
3 開講学年	2	7 使用教材		
4 履修区分	フィールド選択	リコーダーライブラリー	リコーダー	
5 単位数	2	ミュージックノート	クラシックギター	

1 科目の目標・学習内容

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
- (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	曲想と音楽の構造や歌詞、様々な背景との関わり、その表現上の効果について理解している。 表現上の効果や表現形態の特徴を生かしながら創意工夫し、表現する技能を身につけている。	・ワークシート、ノートへの記入内容 ・授業中の取り組み観察 ・実技テスト
【思】	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている	・実技テスト ・ワークシート、ノートへの記入内容
【態】	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業中の取り組み観察 ・ワークシート、ノートへの記入内容

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	歌唱	発声の基礎練習 校歌 Tomorrow 見上げてごらん夜の星を	6	・発声の基礎を再確認し、より豊かな発声を身につける。 ・歌詞と曲想との関わりを理解し、表現方法を工夫して歌う技能を身につける。	【知】 【思】 【態】	授業観察 ワークシート記入
	器楽	アルトリコーダー独奏 「Recorder library」より抜粋して実施	4	・リコーダーの基礎的な奏法を再確認する。 ・音楽の諸要素と曲想との関わりを理解し、表現方法を創意工夫する。	【知】 【思】 【態】	授業観察 ワークシート記入 実技テスト
6	歌唱	Let it be カタリ カタリ		・外国語の歌詞の発音と表現の関わりを理解し、表現意図を持って歌えるようにする。	【知】	授業観察

7	鑑賞	Take me home country home 「ビートルズヒストリー」	8	と生かし、表現意図を持つて歌われるようにする。 ・楽曲の歴史的・社会的背景と曲想との関わりを理解する。	【思】	ワークシート記入 実技テスト
8	歌唱	大きな古時計（合唱） アメージンググレイス（合唱） リコーダーアンサンブル 「木星」 「風の谷のナウシカエンディング」	12	・表現形態を生かした表現を工夫する技能を身につける。 ・表現形態を生かした表現をグループで話し合って創意工夫できるようにする。	【知】 【思】 【態】	授業観察 ワークシート記入 実技テスト
10	器楽	リコーダーアンサンブル発表 ギター 教科書P64・65 エチュード集 簡単な和音による弾き歌い① 「なごり雪」など	14	・グループで協力して、演奏を作り上げ、互いに鑑賞して批評する。 ・ギターの基礎的な演奏法の復習を行い、重音や簡単な和音を演奏できるようにする。	【知】 【思】 【態】	授業観察 実技テスト
12	歌唱 鑑賞	沖縄の歌 島唄 ていんさぐぬ花 沖縄の文化と音楽 沖縄の戦争	6	・沖縄の歌の社会的・歴史的背景と曲想との関わりを理解し、表現方法を創意工夫できるようにする。	【知】 【思】 【態】	授業観察 ワークシート記入
1	鑑賞	・大作曲家の生涯と作品 モーツァルトの生涯と作品 「アマデウス」鑑賞 「交響曲40番」など	6	・モーツァルトの生涯と作品を知り、現代に至るまで聴き続けられている理由を理解する。	【知】 【態】	授業観察
2	歌唱	からたちの花 風の子供	8	・日本歌曲の曲想と歌詞、歴史的背景、作曲家とのかかわりを理解し、表現方法を創意工夫できるようにする。 ・弾き歌い①に引き続き簡単なコードを覚え、歌唱を伴って演奏できるようにする。	【知】 【思】 【態】	授業観察 ワークシート記入 実技テスト
3	鑑賞	物語と音楽の関わり 「キャッツ」 「フィガロの結婚」など	6	・総合芸術であるオペラやミュージカル作品の芸術性や歴史を理解し、自分にとっての価値を文章などで表すことができるようにする。	【知】 【態】	授業観察 ワークシート記入

4 単元テスト

単元ごとの実技テスト

5 その他